



# 東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2012 年(平成 24 年)4 月 25 日(水)  
第 1073 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

## ●本日の司会 (曳地 義正 SAA)

## ●開会点鐘 (佐藤 義弘会長)

## ●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

## ●本日のお客様



青少年交換留学生 ガブリエラさん

米山奨学生 金 太月さん

## ●会務報告 (佐藤 義弘会長)



ロータリー米山記念奨学会から当クラブにたいして、米山功労クラブ感謝状をいただきました。

## ●幹事報告 (蜂巣 義和幹事)



本日の理事会終了後、理事会を開催しますので理事の皆さんはお残りください。

## ●ご挨拶・米山奨学金授与 (米山奨学生 金 太月さん)

はじめまして、一橋大学社会学研究科修士 2 年の金太月と申します。出身は中国です。この度はこんな素敵な奨学金をいただいて、本当に心から感謝しております。ありがとうございました。



## ●新会員入会式



### ★指田 裕士新会員より

私が 3 年くらい前に自分の会社の社長に就任してから、入会の誘いをいただいております。自分はまだ若いので待ってくださいということで、ここまでできてしまいました。今日を迎えてもまだ 41 です。こんな小僧でクラブに入ってよいのかなあと、恐る恐るやってまいりました。しかし、皆さんに温かく迎えられる一員になれたということで、これからどんどん皆さんに教えていただいて、ちゃんとした会員になればなあと思います。右も左もわかりませんが、よろしくお願ひいたします。

## ●クラブフォーラム

### ★主旨説明（中野 勝夫情報委員長）



今日はクラブフォーラム（全体会議）ですが、ちなみにクラブ協議会は委員長さん以上ということだそうです。

情報委員会はロータリーの知識やルールについて会員の皆さんに知っていただき、併せて新しい情報を皆さんにお伝えするのが役割です。新しい情報につきましては、「ロータリーの友」や「ガバナー月信」をご覧ください。

今まで情報委員会は新会員の研修等を行ってまいりました。こちらは地区でもやっております。そこで何かよい情報はないかと色々探しましたところ、調布むらさき RC は創立 20 年くらいで会員数が 80 名で親クラブを越しています。それから多摩中グループの武蔵国分寺 RC も親クラブより 10 名くらい多いそうです。当クラブも会員増強に力を入れて頑張っておりますが、この両クラブの方々と話をしたのですが、やはり会員が増えているクラブというのは、活動が活発であると言えます。活動と言えば、ロータリークラブは奉仕団体ですから重要なことは奉仕活動です。それから親睦が主体となったクラブ内の活動（ゴルフ部や野球部）です。

やはり、奉仕活動にしても奉仕する相手の方に自分達のクラブの事を知っていただくとか、活動を通して会員が一致協力することがクラブの活性化に繋がるのではと考えました。

そこで、今日は我々クラブの事を知っていただくということで創立当時のこと、今までの奉仕活動、新しい活動についてそれぞれお話していただきます。

### ★司会進行（本田 征勇情報副委員長）



### ★芳見 貞夫パスト会長



私は創立当時からおりますが、今日はとても嬉しいですね。それは何故かということ出席率が良いからです。人が集まらなければつきません。皆さんに聞いていただいて、教わるのが多々あるかと思えます。

平成 2 年 3 月 28 日が当クラブ創立記念日です。贅沢を言ったらさきがありませんが、人間である以上実のある会合に参加したいという欲があります。それを叶えるために今日は情報委員会の方々がクラブフォーラムを企画されました。クラブフォーラムで一番大事なことは、遠慮なく意見を言っていただくということです。それをクラブ発展の基礎に出来ればと思います。

### ★西野 勝介パスト会長



私は 2006-2007 年の会長を務めさせていただきました。まず、会長になりますとその年度に何か実績を残したいという気持ちが起こります。私もクラブのお金を使わずに、地区補助金を使って何とか事業をおこしたいということで、地域の施設にたいして形の残るものを目標に立てました。色々と考えた中で、愛全園へのマッサージチェア贈呈と春のひと時コンサートに補助金を使いました。

その経緯といたしましては、最初に車椅子を贈れるかもしれないと老人ホームへ伝えましたら、車椅子は要らないので出来れば液晶テレビが欲しいということでした。その旨を当時の財団委員長に問い合わせましたところ、テレビなどの娯楽品は補助金として許可が下りないということで、健康器具としてマッサージチェアを贈ることになりました。それから贈呈以外に何かと思い、慰問の為のコンサートを開催いたしました。

奉仕にあたってロータリアンは何に関わらなくてはならないかとか、実施したことを地域に広報しなければいけないという補助金をいただくにあたっての決まりがありました。当クラブは、施設への交渉をする、家電店をまわる、新聞に載せるための交渉をする、会員への協力を要請するなどを行いました。

反省点としては、地区補助金は単年度で終わるものですが、慰問という毎年続けられるものを単年度で終えてしまったことが一つ心残りでございます。

### ★内藤 征一パスト会長



青少年野球教室についてですが、大沢会長・村野幹事の年度に始まりました。会長が地域の子供達に何かしようと「明るく挨拶をかわそう」というテーマで第 1 回目を開催しました。その当時、読売巨人軍の宮田ピッチングコーチを紹介してもらって、快く引き受けて

いただきました。それから続けて 9 年間やっていただいたのですが、宮田さんがお亡くなりになり、どうしようかと考えていたところ、一緒にコーチに来ていた木田ピッチャーが続けてやらせて欲しいということだったのでお願いしました。そのような経緯で 17 年間続いております。

最初始めた時には、豚汁、おにぎりは自分達で作りました。特に豚汁は前日に野菜を買いに行き皮むき・カットをして、当日朝早くから作り始めました。それから 4・5 年続いた頃、そろそろ終わりかなあと感じていたのですが、少年野球連盟が是非続けてやって下さいということでしたので、今日に至ったわけです。

長くやっていると色々な方法で楽しくやっていけると思っています。今まで 17 年続きましたが、毎年 500 人以上は子供達と父兄が集まっております。このようなイベントは他にはなかなか出来ないのではないかと思います。

## ★中野 勝夫パスト会長

昭島市は各所に湧水がありまして、昔に比べると確実に数は減っているのですが、ほたるは水の綺麗な所でなければ息できません。そこで環境保全のシンボルとしてほたるを保護育成しようという団体がいくつかございました。私共もその中の一つに加わろうということで、15年くらい前、大矢会長・荒川幹事の年度にスタートいたしました。最初はほたるの幼虫を分けていただいて、それを西野会員のお宅の裏の川などに放流したのですが、幼虫は、7月頃放流して年が明けて4月頃まで水の中で生活し、まともに成長すれば上陸して土の中で繭を作って羽化してほたるとして飛び立ちます。ほたるは10日から15日しか寿命がありませんので、それをつかまえて卵を産ませて放流してということを何年か繰り返していたのですが、数えるほどしか飛び立ちませんでした。一番飛んだ時で60匹くらいでしたが、その時は玉川小学校の生徒さん達を呼んで観賞会をいたしました。

その後は、西野会員宅の車庫をお借りして「ほたるのタベ」を開催いたしました。

数多く飛ばない原因は、幼虫が水の中にいる間の餌を十分に確保出来なかったことにあるようです。それ以来、活動は現在ストップしている状況です。

## ★山中 秀一パスト会長



私は車椅子の寄贈についてお話をしたいと思います。昭島に事務局がある「NPO 法人海外に子ども用車椅子を送る会」という団体の方々と、内藤年度の時に、車椅子の整備例会を行いました。翌月、パラグアイ大使館にて80台の車椅子を贈呈しました。同じく内藤年度の時にマレーシアにも150台くらい送りました。

ちなみに車椅子は新品で購入すると1台50万円~100万円するそうです。当時の内藤会長と村野実行委員長がマレーシアまで赴き贈呈式を行いました。

そして、創立20周年記念式典の時にパラグアイ共和国から子ども用車椅子贈呈にたいして、パラグアイ全権大使から大統領府ファーストレディ感謝状をいただきました。

本田年度の時もマレーシアに40台ほど送っております。私の年度の時には、パラグアイに143台整備いたしました。そして当時の中野財団委員長と荒川社会奉仕委員長と私と岩崎幹事でコンテナに積み込み無事、パラグアイへ発送いたしました。こちらパラグアイ大使館にて贈呈式を行いました。

このような対外的な事業は色々やっていますが、私が一つ良いなあと思うのは、皆で協力して何かを作る事業というのは横の絆・友情もさらに深まるのでないかということです。

## ★伊藤 満雄会員



歴代会長からそれぞれの時代の苦勞話を聞きまして、我々も頑張って諸先輩方に負けないようにやらなければいけないなあという気持ちになりました。

何か新しい奉仕活動はないかということで、私と小島会員が柔道連盟で役をやらせていただいて、平成元年から立川柔道連盟主催で多摩地区の子供達を集めて「立柔杯」という柔道大会をやっております。連盟も何しろお金がありませんので、皆さんの所をまわりましてお金を集めております。財政的に四苦八苦しておりますので、メダルや賞状を出すのも大変です。大人にしてみればメダルなどはどうとも思わない物ですが、子供にすれば一生の宝物になります。青少年育成に大変役立つものだと思います。我々のモットーはとにかく元気に挨拶の出来る子供を育てようということです。元々柔道とは教育的要素の強いものでしたが、現代の柔道はスポーツ的になり本来の柔道とはかけ離れています。我々は本来の柔道である礼法を大切に柔道を普及していこうと頑張っております。そこにロータリーの力をお借り出来ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## ★村野 静男パスト会長



私達のクラブもなんとか23年経ち、それぞれの会長さんがそれぞれの考えで、理事の方達にも恵まれて立派にやってきて今日があるとあります。

クラブが最も飛躍したのが20周年を迎えてからではないかと思えます。2750地区の皆からも立派なクラブが出来たと認められたのではないのでしょうか。やはりそれは20年の間に何も分からない中、地道に色々な奉仕活動をやってきた積み重ねです。

当時28人くらいであった会員を、やはり数は力であるということで、前澤増強委員長を筆頭にまず10人集めようと目標を立て、20周年の時に11人の会員を集めました。そんなに集めることは2750地区でも稀にしかないと大きな話題になり、各クラブからそのノウハウを教えて欲しいと言われました。そこで前澤委員長が各クラブに出向き話をし、それが大きく評価されました。

20周年の時の車椅子の事業も大きく評価されラジオ番組にも出ました。それを記念式典の時に流しましたところ、皆さんびっくりしていました。2750地区で当クラブなどは西の果てのようなものですから、そのようなクラブが大それたことをやったのです。

それから日野にある盲目の楽団を呼んで、市民会館で演奏会をいたしました。1,000人のお客さんを集めました。これも大変なことです。

このようなことがあったからこそ、これからをどうするのかという話に繋がるわけです。今日歴代の会長さんがお話をしてくださいましたが、これをただ聞いただけでは逃げてしまいます。是非文章に残してください。それを参考に次のステップに上がっていきたいと思います。無記名で結構ですので、アンケートにどんなことでもいいので書いていただけるようお願いいたします。

●二コニコ BOX 発表 (工藤 開光親睦委員)

- 佐藤会長 指田裕士会員の入会を祝し。ガブリエラさん、金太月さんの来訪を歓迎して
- 伊藤会員 指田さん、入会おめでとうございます
- ・蜂巣幹事 指田様入会おめでとうございます。中野情報委員長様、本日よろしくお祈いします。
- ・荒川会員 指田さんご入会おめでとうございます。また、情報委員会の皆様本日のクラブフォーラムよろしくお祈いします。
- ・石岡会員 指田さん、ご入会おめでとうございます。これから宜しくお祈いします。金さん勉強頑張ってください。
- ・小島会員 指田さんご入会おめでとうございます。これから、宜しくお祈いします。金さん、勉強頑張ってください。

- ・佐々木会員 指田さんの入会を歓迎して
- ・中野会員 指田会員の入会を祝して
- ・平畑会員 指田氏の入会を祝して
- ・山中会員 指田さん入会おめでとうございます。金さん初めまして！

●出席報告 (石岡 孝光出席委員長)

会員数 45名 出席義務会員 42名  
 本日の出席 31名 (メイクによる出席者数を除く)

●次週例会予定 (荒川 義昭プログラム委員長)

5月2日(水)

「卓話」警視庁昭島警察署 警視 田渡茂夫署長様

●閉会点鐘 (佐藤 義弘会長)

平成 24 年 5 月 9 日 (水) 第 1075 回例会報告  
 移動例会 「IHI そらの未来館」見学

株式会社 IHI 航空宇宙事業本部が手掛けてきたジェットエンジン、宇宙開発機器、およびガスタービンなどの製品や関連する貴重な資料を一堂に集めた資料館で、館長にご説明をいただきながら、館内を見学しました。



懇親会 寿司「いしかわ」にて